

令和3年度 フードバンク活動促進に向けた実証事業の実施状況

1. 事業目的

食品関連事業者（以下、事業者。）から発生する未利用食品の有効活用を促進するため、比較的小さな規模、エリアでのモデル事例を構築・検証する実証事業を実施し、その事例を普及啓発することで、今後の県内でのフードバンク活動の普及・定着を図る。

2. 実施内容

①(一社)富山県食品産業協会にフードバンク活動コーディネーター(以下、コーディネーター)を配置

食品提供が可能な事業者の確保

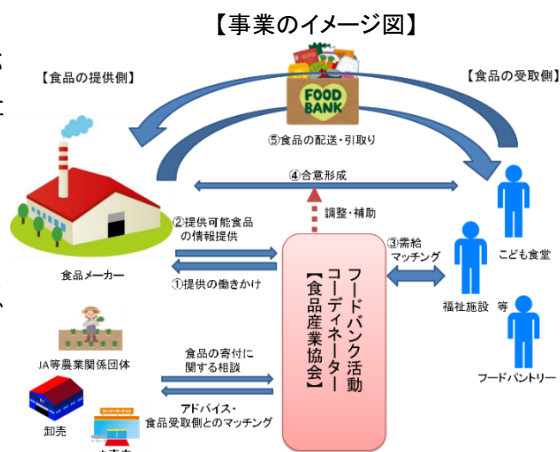
- ・包装の印字のズレや外箱の変形等により通常の販売が困難な食品のロス削減のため、コーディネーターが事業者にフードバンク活動に係る普及啓発を実施。
- ・事業者を対象に研修会を開催。（参加企業：21社）

食品受入れを希望する提供先の確保

- ・県内の社会福祉協議会、子ども食堂や福祉施設等（以下、受入団体。）と連絡。
- ・県内で活動するフードバンク団体との連携を実施。

情報提供

- ・コーディネーターが、事業者から寄せられた食品の情報を、事業者の近隣で活動する受入団体へ提供し、あわせてHP上で発信。



②マッチング体制の構築

- ・食品提供に関心のある事業者を募集（参加企業：17社）。
- ・提供可能な食品の種類や受渡方法を整理、富山市や南砺市をモデル地域に設定。
- ・モデル地域内で、事業者と受入団体とのプレマッチングを実施。

③フードバンク活動の実施

・食品の受渡状況(令和4年2月末時点)

食品提供事業者	提供先	提供物
株式会社なかしま（南砺市）	福祉施設（3者）	冷凍のかき揚げ
ボンリブラン（富山市）	子ども食堂（5者）	焼き菓子、和菓子

※その他、富山市内で賞味期間の短い食品の提供に向け、受入団体と調整中。

課題

- ・食品の提供にあたり、受入可能な食品や種類等が受入団体によって異なることから、引き続き事業者と受入団体との調整するコーディネーターが必要。
- ・事業者のフードバンク活動に係る認識の改善や理解促進が必要。

3. 今後の取組み

- ・コーディネーターを中心とした、事業者と受入団体のマッチングを一層推進。
- ・モデル事例を踏まえた事業者向けのPRを強化、県内での横展開を推進。